

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業実施計画期間	平成25年度～平成29年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	吾妻森林計画区 (群馬県)	事業実施主体	関東森林管理局 吾妻森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、群馬県の北西部に位置し、北は新潟県、西は長野県と接した吾妻郡一円(中之条町、高山村、東吾妻町、長野原町、草津町、嬭恋村、六合村)であり、当該地域の森林の57%を占める58千haが国有林である。</p> <p>本計画区内の国有林は、利根川水系の1支流である吾妻川の上・中流部に位置し、ブナ、ミズナラ、コメツガ、シラベ等を主体とした天然林(58%)とスギ、ヒノキ、カラマツの人工林(42%)によって構成されている。</p> <p>上流部の新潟県境の稲包山から、西に横手山、白根山、四阿山を経て、南西の浅間山に至る2000m級の山脈は優れた景観を有し、国有林の大部分が上信越高原国立公園に指定されているほか、首都圏から比較的近く、温泉、湖沼、山岳等の豊かな観光資源に恵まれていることから、レクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、水源涵養を主体とした保安林指定も国有林の63%に達し、首都圏の水源地確保等を目的とした四万川ダムも完成するなど、水資源確保のための重要な役割を担っている。</p> <p>一方、中流部では、シイタケ、マイタケ等の特用林産物や健康飲料の「メグスリドリンク」等のメグスリノキ加工品も生産されているとともに、スギ、ヒノキの人工林が多く、古くから中之条町を中心に地元木材を利用した製材工場等が多いことから、木材の安定供給をはじめ、地域の林産業の振興に重要な役割を期待されている。</p> <p>このため、本事業においては、これらの地域の要請に応えるべく、木材の安定供給を確保するとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備の推進やこのための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐等の利用推進に資することを目的としている。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>443 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,106 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>23.6 k m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>8.9 k m</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>1,584,028 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	443 h a			保育面積	5,106 h a		路網整備	開設延長	23.6 k m			改良延長	8.9 k m	総事業費			1,584,028 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	443 h a																				
		保育面積	5,106 h a																				
	路網整備	開設延長	23.6 k m																				
		改良延長	8.9 k m																				
総事業費			1,584,028 千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	9,648,138 千円																					
	総費用(C)	1,980,898 千円																					
	分析結果(B/C)	4.87																					
関東森林管理局事業評価技術検討会の意見	評価対象事業について、必要性、有効性、効率性が認められる。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 水源のかん養や国土保全、地球温暖化防止対策及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備及び路網整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から事業の効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能(特に水源涵養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
 施行箇所：吾妻森林計画区

都道府県名：群馬県
 (単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,674,120	
	流域貯水便益	644,841	
	水質浄化便益	1,364,991	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,488,222	
環境保全便益	炭素固定便益	865,095	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,176,067	
	木材生産確保・増進便益	917,191	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	111	
	治山経費縮減便益	83,125	
	森林管理等経費縮減便益	10,180	
	森林整備促進便益	424,195	
総 便 益 (B)		9,648,138	
総 費 用 (C)		1,980,898	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{9,648,138}{1,980,898} = 4.87$		

森林環境保全整備事業 吾妻森林計画区(群馬県) 事業概要図



対象計画区拡大図

